

川西コミュニティ

自治会加入率がV字回復

防災の活動で「内閣総理大臣表彰」を受賞したことで有名な川西コミュニティですが、一時は自治会加入率が41・5%まで落ち込みました。しかしその後は右肩上がりの回復を続けています。今回は、「新しい自治会の枠組み」を推進している川西コミュニティの取り組みを紹介します。

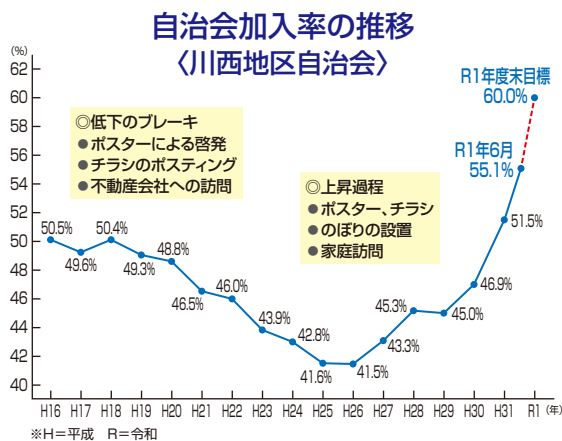
地域崩壊の危機

自治会の加入率は、左図が示すとおり平成26年4月まで下がり続けていました。加入率が30%台間近というのは、地域のお祭りや行事などの参加者が大幅に減り、「地域のことなんかどうでもいい」と考える人が多い状態です。これに危機感を募らせた熱意ある人た

ちが集まり、平成24年に加入率向上を目指した活動を本格的に開始しました。

地道な活動が実を結ぶ

自治会加入率を上げるために、加入啓発のポスター・のぼり・看板の設置や、広報車での加入呼びかけ、未加入世帯へのチラシ配布などを行いました。また、川西町独自の「安心・安全・パスポート」を発行。地元の企業・飲食店などで割引や飲み物のサービスなどが受けられるため、



若い世代に大好評です。他にも、2人1組の訪問チームで未加入世帯を訪問する



2人1組で未加入世帯を訪問



協力してのぼりを設置

活動を粘り強く続けました。そのような活動が実を結び、加入率は55%台までV字回復しています。

「自治会」から「コミュニティ自治会」へ

川西コミュニティでは、これまでの自治会組織に固執せず、未加入世帯の受け皿として独自の自治会活動を始めました。それが「コミュニティ自治会」です。通常の自治会よりも広い小学校区を区域とし、地域の拠点施設であるコミュニティセンターを事務局とすることで、地域の人からも「どこに行けばよいかわかりやすくなったし、行きやすくなった。相談もしやすくなった」と好評です。今後も加入率75%を目標に、川西コミュニティの取り組みは続きます。

みんなで助け合える 基盤をつくる

新しい自治会の枠組み「コミュニティ自治会」の加入者を増やすために、チラシを配った未加入世帯を訪問したりと、日々活動しています。「自治会」と聞くと、特に若い人は「井出さらいや掃除なんかしたくないし、入りたくない」と考える人が多いと思います。川西コミュニティでは、地域の活動に「参加しなくてはいけない」という従来のような考えではなく、「好きな活動に参加してください」という方針で、忙しい人や共働き世帯に配慮しています。今の時代、どの地域も様々な問題を抱えています。コミュニティ自治会の推進を通して、そのような問題を一緒に解決してくれる仲間を増やしていきたいらと思えます。



川西地区地域づくり推進協議会 松岡 静男さん(左)・大谷 透さん(右)